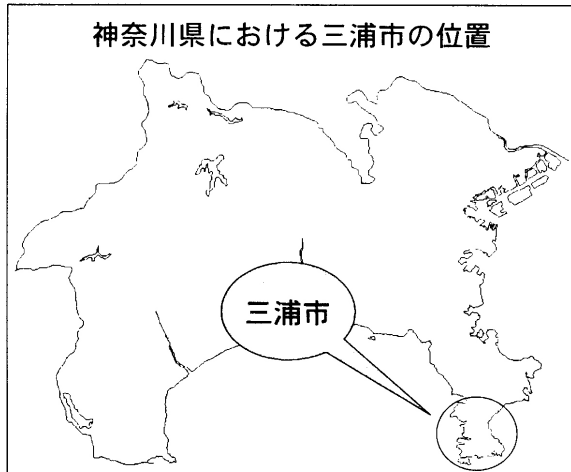


第 2 章

三浦市の概要と生活問題及び地域の概念

第2章 三浦市の概要と生活問題及び地域の概念

1 三浦市の位置



(平成14年9月1日現在)
人口：51,376人
世帯数：17,504世帯 男25,164人 女26,212人
市域面積：31.27平方キロメートル

太平洋と東京湾によって三方を海に囲まれる三浦市は、神奈川県南東部に位置し、半島の先端とその南にある城ヶ島からなっている。市域を南に走るなだらかな丘陵地から42.9%に及ぶ海岸線にむかって、斜面緑地を始めとする自然環境に恵まれ、首都圏住民の日帰り観光のメッカとして親しまれてきた。

また、黒潮の影響により年間を通して温暖な気候に恵まれ、ほぼ全域にわたって腐食質の黒ボク土が覆う土壌は、きわめて富養なことから農業に適しているといわれている。

2 三浦市の人口

平成14年9月1日現在の三浦市の人口は51,376人。平成6年10月1日現在の54,339人をピークに減少傾向にある。

また、人口の高齢化が進行するもとの、本市の老年人口比率（人口に占める65歳以上の

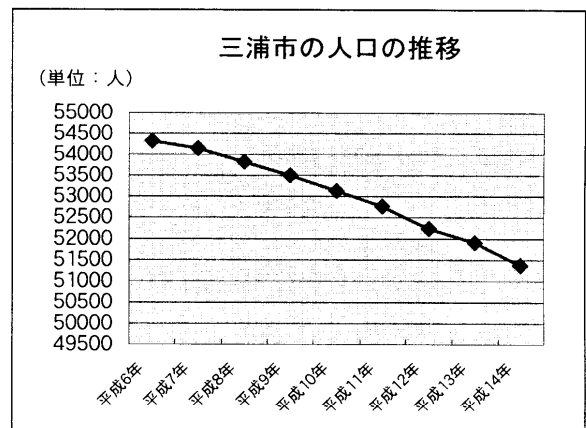
割合）は20.295%（平成15年1月1日）。2010年には25%台を越えるとの推計もある。4人に1人が高齢者となる計算だ。今後はさらに高齢者の医療費や介護サービスなどの社会保障費は増大するということである。

しかし、この高齢化の進行に比して、合計特殊出生率は低下している。出生率の低下という自然要因の他に、転出に抑制が効かないことなどがあいまって、本市の人口は減少を続けているわけだ。

こうした少子化の進行は、子どもと家庭、社会に様々な影響を及ぼす。

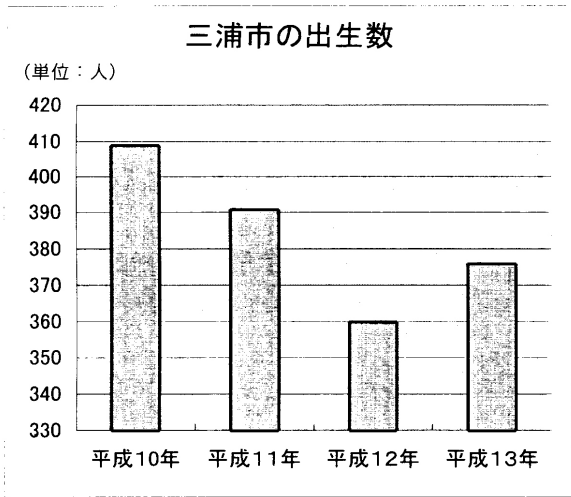
子ども同士の「ふれあい」の機会は減少し、自主性や社会性が欠如する—といったことも懸念される。

また、核家族化の進行により、家庭、地域での子育て機能が低下する恐れも否定できない（三浦市の世帯構成人員は平均で2.935人。1世帯3人平均を割り込んでいる。）。



(出典：三浦市企画部企画課 三浦市統計月報より)

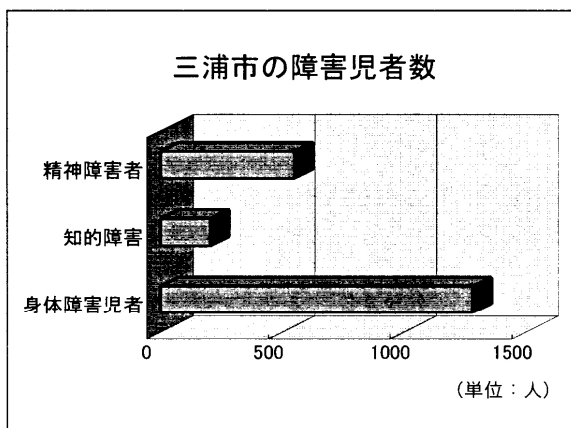
この他にも、年金、医療などの社会保障費用における労働者層の負担の増大や、若年労働者の減少等による社会の活力低下、人口減少による経済縮小といった社会問題を想起させる。



(出典：三浦市母子保健計画より)

同様に障害児者を取り巻く状況にも厳しいものがある。「三浦市障害者福祉計画」でも障害児者が増加傾向にあるとの認識を示している。人口が減少する中でこうした障害児者の数が増えるということは、増加の割合が高まっているとみるべきであろう。

しかしながら、本市の障害者施策は施設サービス・在宅サービスともに他市と比較して著しく遅れており、ともすると「老人福祉偏重」との批判を容易に生み出してきた。

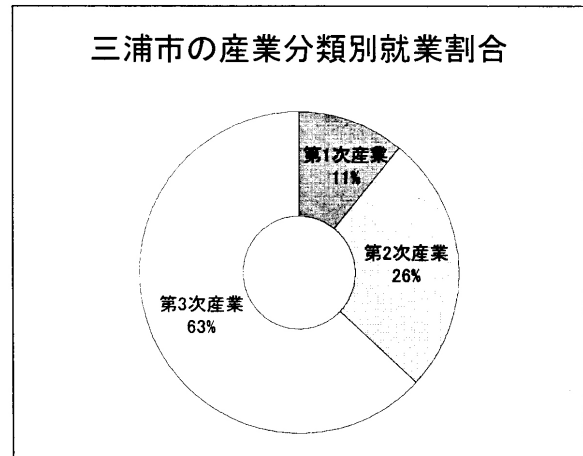


(出典：三浦市障害者福祉計画より)

3 三浦市の産業

本市の産業別就業人口を神奈川県全体と比較すると、第1次産業の割合が高く、その中でも本市就業人口の約5.36% (2000年調べ)

を占める農業は、大根、スイカ、キャベツを主力産物とした県下でも指折りの産地である。また、全国的にみても高い生産性と収益性を確保している。但し、農業の就業人口が減少傾向にあることは否めない。



(出典：第4次三浦市総合計画より)

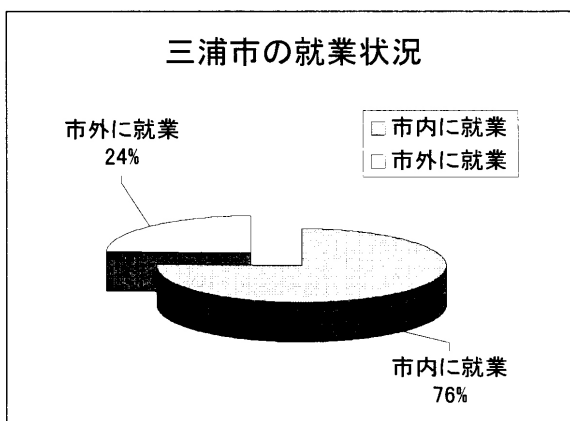
もう一方の基幹作業である漁業であるが、沖合、沿岸、遠洋と幅広い形態で営まれ、特にマグロを主体とした遠洋漁業は三崎漁港を中心に漁船が集まり、全国の拠点として反映してきた。ところが、生鮮食料品を低温設備によって生産地から消費者に送り届けられるようになり冷凍マグロの時代に入ると、水揚げは保冷力と買い付け力で差のある東京、清水などに吸引され、昭和43年をピークにオイルショック、200海里規制の強化、さらには輸入の増大などから年々景気も後退しはじめた。また乱獲による資源の枯渇によって、遠洋漁業の不振の後を追うように沖合、沿岸漁業も衰退の一途をたどっている。

そして、この農業・漁業に観光を加えた3本柱が本市の産業の基盤となる。確かに、三崎マグロをひとつのブランドとしたグルメ商法は、第4次三浦市総合計画に謳う6次経済(=1次×2次×3次)の可能性を示唆するが、本市就業人口の大勢を占めるサラリーマ

ン層にとっては、とても身近な問題とはいえない。景気の低迷による経営不振から、店をたたむ店主が増え、そのことによって社会参加の機会が少しずつ奪われていく高齢者や障害者がいることも見逃せない。つまり生活者にとっての「地域経済の振興」という視点も欠かせないのではないかとということである。本市のスローガン「もてなしの心」によって、来遊客を迎え入れることも大切なのだろうが、それぞれの生活がまずあるということである。

また、三浦市の就業者27,900人中24%、6,800人が他市に就業していることも見逃せない。

本市の低迷する経済状況を鑑みると、この傾向はますます強まるものと予測される。



(出典：第4次三浦市総合計画より)

4 生活問題の把握手法

厚生労働省は、社会福祉基礎構造改革の目的を「21世紀において国民の期待に応えるこ

とのできる社会福祉の共通的な基盤を作り上げることにある。」と述べている。

それは「個人が家庭や地域において人としての尊厳をもってその人らしい生活を保障すること」であり、そのためには「個人に対して社会連帯の考え方に立った支援をおこなうこと」が必要となる。

従来のような限られた者の保護・救済にとどまらず、国民全体の生活の安定を支えるにふさわしい社会福祉の新たな枠組みをつくりあげていく必要があるというわけだ。個人の権利や選択を尊重した制度の確立、利用者支援の仕組みや適正な競争などを通じた質の高い福祉サービスの拡充、地域での総合的な支援をおこなう体制の構築が求められてきたのだ。

ゆえに、個々の住民が持つ「生活問題」を可能な限り洗い出すという作業は必然だったといえる。したがって「本計画」をまとめるにあたり、各種団体ヒアリングや住民懇談会、住民アンケートの実施など、広く住民の意見を聴取した。そして、そこで顕在化された「生活問題」に沿った検討を住民参加による委員会で進め、国及び地方公共団体の「社会福祉を増進する責務」を前提としながらも、「地域福祉活動の主体」たる住民の視点から、あるいは当事者の視点から福祉制度・施策、地域の再構築をおこなおうと考えた。次ページからは、住民ニーズの把握に向けたそれぞれの取り組み状況である。

(1) 住民懇談会

回	期 日	場 所	参加者
第 1 回	2001. 9.18	上宮田民家	在宅介護にあ たっている主 婦ら8人
第 2 回	2001.10. 4	上宮田民家	元民生委員・ 主任児童委員 9人
第 3 回	2001.10.19	三浦市福祉会館	未就学児を抱 える母親4人
第 4 回	2001.10.22	みどりの家	学童を抱える 母親6人
第 5 回	2001.11.22	三崎町民家	地 域 住 民 ら 36人
第 6 回	2001.11.28	尾上町の民家	生協の役員ら 6人
第 7 回	2001.12. 1	勤労市民セン ター	生協の会員ら 18人子供8人
第 8 回	2002. 2.12	油壺幼稚園	幼稚園教諭ら 6人
第 9 回	2002. 2.20	三戸住民民家	三戸地区農協 婦人部ら5人
第10回	2002. 2.27	三崎消防署	三崎消防署職 員ら5人
第11回	2002. 2.27	青少年会館	元気主婦の会 会員ら30人
第12回	2002. 3.14	住宅集会室	初声シーサイド 小地域支援チ ーム員ら12人
第13回	2002. 3.19	福祉会館	三浦オピニョ ングループ7人
第14回	2002. 3.27	観潮荘板場	観潮荘従業員 ら5人
第15回	2002.10.20	潮風アリーナ	南下浦中学校 生10人

(2) 団体ヒアリング

回	期 日	場 所	参加者
第 1 回	2001.10. 4	南下浦市民セ ンター	民児協南下浦 町地区会 / 24人
第 2 回	2001.10.11	老人センター	老人会・和順 会 / 4人
第 3 回	2001.10.18	三崎町民家	三浦市更正保 護婦人会役員 / 6人
第 4 回	2001.10.18	福祉会館	ゆり根会 / 5人

第 5 回	2001.10.19	勤労市民セン ター	身体障害者福 祉協会 / 5人
第 6 回	2001.10.20	青少年会館	三浦市聴覚障 害者協会 / 6 人・手話通訳 士2人
第 7 回	2001.10.23	福祉会館	育成会 / 4人
第 8 回	2001.10.25	福祉会館	子育てネット / 13人
第 9 回	2001.10.25	地域センター	てんとう虫 / 4人
第10回	2001.10.29	福祉会館	こだま会 / 4人
第11回	2001.11. 2	勤労市民セン ター	わかばグルー プ / 5人
第12回	2001.11. 5	福祉会館	点字サークル / 4人
第13回	2001.11. 5	生協事務所	ひまわりの会 / 4人
第14回	2001.11. 6	福祉会館	スポーツクラブ さざなみ / 4人
第15回	2001.11. 7	初声市民セン ター	げんき会 / 4人
第16回	2001.11. 8	うしお作業所	うしお作業所 所員 / 10人・ スタッフ2人
第17回	2001.11. 8	三崎町民家	三浦地域婦人 団体連絡協議 会 / 6人
第18回	2001.11. 9	老人センター	第1・第2こと ぶき会 / 4人
第19回	2001.11. 9	初声市民セン ター	ひばり会 / 5人
第20回	2001.11.13	老人センター	寿和会 / 2人
第21回	2001.11.14	みどりの家	みどり会 / 8人
第22回	2001.11.19	福祉会館	二町谷会 / 4人
第23回	2001.11.20	菊名児童会館	菊名地区福祉 推進委員会 / 5人
第24回	2001.11.20	福祉会館	三崎地区民生 委員児童委員 会 / 9人
第25回	2001.11.24	コスモスの家	コスモスの家
第26回	2001.11.26	特別養護老人 ホームはまゆ う荘	ボランティア グループはま ゆう / 4人
第27回	2002.12. 7	きくな作業所	きくな作業所 (当事者) / 10人・スタッ フ2人